若槻養護学校施設整備事業基本計画書 (リーフレット\_1枚目)

### 2-1 若槻養護学校の学びのイメージ

### 豊かな「森」の環境と「三登山」を望む風景を最大限活かす

校歌でも歌われる「三登山」を望むおおらかな風景、北側の豊かな 学校林、爽やかな芝生の校庭と連続する南側斜面のランドスケープ など、魅力的な既存の風景環境を新校舎に活かした配置計画とし、 森に囲まれ、静けさと落ち着きのある環境をつくります。

### 風景に溶け込む、やさしい佇まい

病院体育館 旧看護学校

校庭やのぞみ病棟側のボリュームを低く抑え、北側の三登山、敷地奥 の学校林に向かって徐々に高くすることで、周辺環境に対して圧迫感 がなく、風景に馴染むボリューム配置とします。

また全体的に軒高を抑え、夏の暑い日差しや雨から守る軒の深い 曲面屋根によって、奥行きが生まれ、柔らかい印象をもつ建築とし ます。校庭に面して平屋の「森の音楽堂」を設け、親密なスケール 感を生み出します。従来の学校のように校庭に大きなボリュームが そそり立たず、生徒を迎え入れるような、やさしい佇まいとします。

若槻養護学校現校舎

旧のぞみA/B棟 療育訓練棟

### 教室部(北ウイング)3層 共用部3層 教室部(南ウイング)2層 のぞみ棟連絡ブリッジ のぞみ部 (3F) 大型 EV 森のプロムナード 自然を感じ、心身がリラックスする散歩道 学校林(森) 新のぞみA棟 育てる庭 森の音楽堂 空中歩廊 既存のランドスケープを活用し、 豊かなアプローチ空間をつくります 南西側から見た鳥瞰イメージ

## 三登山 教室部(北ウイング) 3層 共用部 3層 教室部(南ウイング) 2層 連絡ブリッジ デ 新のぞみA棟 森の音楽堂 学校林(森) 既存斜面

南西側から見た外観イメ-

### 3-1 配置計画

### 2-2 (2)「生活」マルチメディアスペース

# 生活訓練室 のぞみ室 大型FV 3階

学校図書館は読書のためだけの場ではなく、病弱・身体虚弱を抱え教室に入れない生徒達 にとっては、大きなリビングルームの様に安心して寛ぐことができ、教室以外の第2の居場 所となります。1人で過ごすこともでき、人とつながることもできる図書館を目指します。

### ① 居場所としての図書館をつくる

各階に点在する図書コーナーとループを介してつなが り、生徒や教職員は散歩をするように本や情報と出会い 、目的がなくても滞在することができます。

②活動が混ざり合い、新たな探究を生み出す 多様な活動が互いに影響を与え合う事で、相乗効果 的に新しい創作や探究が生まれます。

### ③ ICT環境を活用した新たな図書館

ICT環境が整い、端末で本を読む機会が増えつつあ ります。ゆとりある書架配置とすることで、散策し ながら本と出会うことができる場をつくります。

### ④ 世界とつながる場

公立図書館との連携し、蔵書数の少なさを補います。



→ I\(\(\frac{1}{2}\) | 0 | \(\frac{1}{2}\) 典型的書架配置と

閲覧スペース

新たな書架配置と 居場所の関係

### 2-2 (4)「共創」地域交流ギャラリー



1階エントランスに位置する地域交流ギャラリーは、毎日生徒をやさしく迎え入れる学校 の顔であり、生徒が作品展示や交流会等を通して社会とつながる接点でもあります。生徒 が日常的に地域や社会との関わりを感じる場となることを目指します。

### ① 生徒が社会とのつながりを感じる場

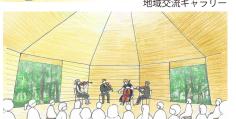
「図書/展示コーナー」や「掲示コーナー」、 「多目的スペース」を配置し、生徒が外に向 けて発信すると共に、書籍や展示物から新し い情報を得ることができます。

学校の中に地域との接点となる場があること で、生徒の卒業後の自立、社会活動への積極 的な参加へとつながります。

②「森の軸」「活動の軸」「たての軸」 地域交流ギャラリーは「森の軸」、「活動の 軸」、「たての軸」、3つの軸が交わる場所 です。屋内外の様々な活動風景が見え、学部 を越えた交流のきっかけとなる場所です。



地域交流ギャラリー



森の音楽堂



